

## 令和7年度 第7回男鹿市農業委員会定例総会会議録

1. 開会日時 令和7年10月3日（金）午前8時30分から

2. 開催場所 男鹿市役所 5階 大会議室

3. 出席委員数 （12名）

出席者 （会長）吉田陽一

（代理）戸部秀悦

（委員）

1番	佐藤洋介	2番		3番	伊藤淑榮
4番		5番	高橋郁雄	6番	清水 司
7番	三浦栄子	8番		9番	鈴木孫城
10番	武田一雄	11番		12番	佐藤正樹
13番	目黒 千衣子	14番		15番	
16番	鈴木豊則	17番			

4. 欠席 （6名）

5. 農業委員会業務報告(9月分)

6. 報告事項

報告第4号 農地法第18条第6項の規定による通知について

7. 議事案件

議案第14号 農地法第3条の規定による許可申請について

議案第15号 農地法5条の許可について

8. その他

9. 農業委員会事務局職員

事務局	局長	補佐	長	濱	野	勇	幸
主		事		鈴	木	俊	市
				浅	井	和	将

10. 会議の概要

事務局長

ただ今から、令和 7 年度第 7 回男鹿市農業委員会定例総会を開会いたします。今回の総会は報告事項が 1 件、議事案件が 2 件であります。

始めに、吉田会長から挨拶をお願いいたします。

会 長

おはようございます。朝早くから、ありがとうございました。

令和 7 年度第 7 回定例総会にご出席いただきまして、ありがとうございます。

稲刈り作業も終盤となり、既に作業を終えた方もいるのではないのでしょうか。

先月は、稲刈り作業を始めようと思えば雨になり、なかなか天候に恵まれない日々を送りましたが、本市は幸いにも夏の日照りや大雨の影響はそれ程受けておらず、平年並みの収量が見込まれるのではないかと聞いております。

米の値段は、昨年よりも高値で推移しておりますが、市場の安定化のためにも、落ち着いてくれれば良いと願っております。

さて、本日の案件は、報告事項が 1 件、議事案件が 2 件でありますので、ご審議の程、よろしくお願いします。

事務局長

次に、総会の定足数についてであります。

2 番 加藤和洋委員、4 番 鈴木和俊委員、8 番 原田智也委員、14 番 山本義則委員、15 番 伊藤賢一委員、17 番 鈴木誠孝委員から欠席の届け出があり、本日は 18 名中 12 名で、総会の定足数に達しております。

それでは、男鹿市農業委員会規則第 10 条の規定により、会長が議長を務めることになっておりますので、議事の進行は吉田会長をお願いいたします。

議 長

男鹿市農業委員会規則第 19 条に規定する議事録署名委員については、

はか

どうお 諮 りしたら、よろしいでしょうか。

一 同

議長一任。

議 長

議長一任の声がありますので、議事録署名委員に、1番 佐藤洋介委員、16番 鈴木 豊則委員をお願いします。

なお、本日の会議書記には、事務局職員の鈴木局長補佐と浅井主事を指名いたします。

続きまして、農業委員会業務報告をよろしく願いいたします。

浅井主事

9月の農業委員会業務報告をさせていただきます。

座って、説明させていただきます。

9月3日、第6回農業委員会定例総会を開催しております。

9月11日、令和7年度、地区別市町村農業委員会会長、会長職務代理者、事務局長会議が開催されております。

9月17日、5条関係の現地確認を実施しております。

9月20日、3条関係の現地確認を脇本地区にて実施しており、9月25日、業務打ち合わせ及び、第114会場審議委員会が開催されております。

9月29日、男鹿市鳥獣被害防止対策協議会が開催されております。

出席者については記載の通りとなっております。

今後の予定についてご説明いたします。

10月の23日から24日にかけて、全国農業担い手サミットin鹿児島が鹿児島県にて開催され、吉田会長が出席予定となっております。

10月27日第115回常設審議委員会及び、農業委員会の業務打ち合わせを開催する予定となっております。

明月、11月1日、秋田県農業委員会大会が湯沢文化会館で開催される予定となっておりますので、本日の出欠を確認させていただきたいと思っております。

11月5日に第8回農業委員会定例総会開催予定となっております。  
業務報告についての説明は以上となります。

議 長

ただ今の今の事務局の説明について何かご意見ございませんか。

一 同

委員よりなしの声

議 長

報告でありますので、よろしくお願いいたします。

それでは報告事項に入りたいと思います。

報告第4号農地法第18条第6項の規定による通知について、事務局説明をいたします。

浅井主事

座って説明させていただきます。

議案書の1ページをお願いいたします。

報告第4号農地法第18条による解約の関係になります。

申請番号1号、脇本富永太田113-1他7筆、地目 田、面積計6,022平米。

渡人が、秋田市飯島のA。

受人が、脇本のB。

この解約ですが、この後、柏木さんから渡部さんが売買するための解約する案件となっております。

説明は以上となります。

議 長	ただ今の事務局説明に、何かご意見ございませんか。
一 同	委員からなしの声
議 長	<p>なしということで、次に入りたいと思います。</p> <p>議案第 14 号農地法第 3 条の規定による許可申請について、説明をお願いします。</p>
鈴木局長補佐	<p>2 ページ、議案第 14 号、農地法第3条の案件についてであります。</p> <p>本日は、貸借権設定が 3 件であります。</p> <p>座ったまま説明させていただきます。</p> <p>申請番号 1 号から 3 号まで同じ受け人になりますので、説明は一括して説明させていただきます。</p> <p>脇本浦田字宮崎 4 他 6 筆。</p> <p>地目田、面積計 17,591 m<sup>2</sup>、渡人が脇本の C 他 2 名。</p> <p>受人が脇本の D。</p> <p>再設定のいずれも 10 年契約ということになります。</p> <p>小作料は、いずれも 10 アール当たり米 1 俵で、水利費は、借人ということになっております。</p> <p>以上で説明を終わります。</p>
議 長	只今、事務局の説明について何かご意見ございませんか。
武田一雄委員	申請案件は、賛成ですけれども、少し聞きたいことがありますのでお願いします

す。

小作料についてであります、米 1 俵の単価が、一昨年まで約 12,000～13,000 円で、現金での契約であれば高くても 20,000 円であったが、今年は、JA の違算金で約 30,000 円となっており、現金の場合約 20,000 円は安く感じるが、皆さんどう思うか意見を聞きたい。

鈴木局長補佐

小作料に関して、米の価値が上がったので現金では、今までの契約では額が足りない。物納となれば1俵の価値が上がったので、今までの契約では小作料が多いとなるが、農業委員会に契約に来る方につきましては、今のところ、耕作してくれれば今までの額で良いという地主が多く、小作人は、今はいいけど来年どうなるかわからないため、今まで通りの額で契約してもらいたいという人が多い状況です。

今後状況が変わった場合は、解約して契約しなおせばいいという考えです。

武田委員

農業委員会では、小作料について、JA違算金約 30,000 円で公表するのか。

浅井主事

農業委員会の賃借料情報については、物納の場合は、JAの概算金を基に計算しているので、平均小作料も上がることになります。

おそらく男鹿市平均で 20,000 円を超えられます。

地主と小作の農家で折り合いのつく形でやっていってもらえない。

一 同

農業機械費、肥料、資材費などみんな値上がりしている。

今まで米の価格が上がらなかったのがおかしいなどの声あり。

議 長

武田委員よろしいでしょうか。

武田委員

わかりました。

議 長

それでは、これで議案 14 号の質疑を終わります。

次は、議案第 15 号農地法第 5 条の許可について事務局説明をお願いいたします。

浅井主事

それでは議案書の 3 ページをお願いいたします。

議案第 15 号、農地法第 5 条転用の案件となります。

申請番号 10 号、船越字サツピ 79-1、地目は田、面積 426  $\text{m}^2$ 。

渡人が船越の E、受け人は潟上市の F、一般用の個人住宅を建設するための転用の案件となります。

内訳についてですが、住宅部分が 52.17  $\text{m}^2$ 、駐車場スペースが 73.29  $\text{m}^2$ 、

玄関スペースが 19.66  $\text{m}^2$ 。庭スペースが 202.1、19  $\text{m}^2$ 、雪寄せスペースが 78.99  $\text{m}^2$ ということで、合計 426  $\text{m}^2$ の永年転用の案件となります。

別添の総会資料、農地転用に関する図面等をお願いいたします。

1 ページ、お願いいたします。

まず、転用申請地の位置図についてであります。

赤色で着色している部分が、今回、転用の申請のあった、農地の場所になります。

こちらの場所ですが、船越の繁華街から一本松の方に向かう途中、右手に入っていくところにある農地の一角となります。

位置図を見てもらうとありますが、申請地の北側には、菊用のビニールハウス

や、水田が広がっている。場所の一角となります。

次は3ページが農地の利用計画図となります。

面積の内訳については先ほど説明した通りとなっております。

図面4ページが現況写真となります。

こちらの写真に写っている、奥に見える、外壁の茶色い家が、転用する農地の所有者になります。

渡人と受け人の関係性が親子間ということで、息子さんがお母さんの持っている農地を譲り受け、実家の隣に住宅を建てるという、転用となっております。

本案件ですが、農地の種別としては第1種農地になります。

集落に接続した箇所であれば、転用は許可可能ですが、農地法施行規則の条文にありますので、そちらを考慮して許可できると考えております。

報告は以上となります。

議 長

どうも、ありがとうございました。

それでは農地法第5条の農地転用の現地確認ということで、確認しました委員は、6番の清水司委員、5番の高橋郁委員です。

説明を6番の清水司委員にお願いします。

清水司委員

隣の高橋委員と事務局の浅井主事と行政書士の立ち会いで、現地確認をしてきました。

場所は、皆さん農地パトロールで何度も行っているところで、前の道路は市道となっておりますが、見た目は農道です。

第1種農地ですが、集落接続というルールがありまして、集落が繋がっていく



部分は、許可できることになります。

また、全部埋めるわけじゃなくて、このピンクの現況写真のところは排水路も入ってますから、排水は排水路に落ちるし、かなり後ろの方が空きスペースになります。

そこから、排水が隣の市民農園に行くような状況でもなく、特に問題はないと思いついて4人で確認してきました。

皆さんの審議の程、よろしくお願いします。

以上です。

議 長

清水さん、ありがとうございました。

それではこれについて何か。ご意見ございませんか。

鈴木豊則委員

昔、面積について3畝超えればよくないという要件があったと思うが、どうなっているのか。

浅井主事

この案件についてもですが、一般用住宅に関しては5畝がルールになっています。

そもそも転用できるのが5畝以内です。またその案件については第1種農地なので、県の常設審議委員会にも諮問することになります。

鈴木豊則委員

わかりました。

議 長

他に何かありませんか。

よければ申請どおり許可したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それではその他に入りたいと思います。

農用地利用収縮等促進計画案の要請について、事務局説明をお願いします。

鈴木局長補佐

そうすれば、議案書の 4 ページをご覧ください。

その他案件ということで、農用地利用集積等促進計画の公告について、農業公社を通した農地の売買ということになります。

申請番号 1 と 1-2 は関連した案件ですので、一括して説明させていただきます。

座って説明させていただきます。

脇本富永字太田 113-1 他 7 筆、地目田、面積計 6,022 m<sup>2</sup>、対価については、総額 174 万円となります。

渡人が秋田市の A。

受け人が脇本の B。

小作契約を合意解約して、売買の契約をするということで、貸し人の希望により小作人が農地を買い受けケースであります。

以上で説明を終わります。

議 長

事務局の説明でございましたが、これについて何かご意見ございませんか。

一 同

委員よりありませんの声あり

議 長

よければ、申請どおり許可したいと思います。

それでは、その他に何か事務局が説明ありませんか。

浅井主事

連絡ですが、先ほど出欠をとりました、11月1日の農業委員大会農業委員会  
大会は8時市役所集発の予定ですのでお願いします。

議 長

これで総会を閉じます、どうもありがとうございました。

。